

主な出来事

【内政】

●1月13日、ヌネス・ジュニオル大統領府経済調整担当大臣は、国会にて、本年第1四半期中に地方自治体制度化に向けた統合計画を承認する旨発表した。

●1月27日、ルアンダ州フンダ市において、衛星ミッション管制センター(CCM)の開所式が行われた。

【外交】

●1月16日、モシコ州ルエナ市において、草の根・人間の安全保障無償資金協力事業の完了確認及び供与式が開催された。

●1月、ロウレンソ大統領はブラジル大統領就任式出席のため訪伯した他、国際会合「Abu Dhabi Sustainability Week」出席のためアラブ首長国連邦を訪問した。

●1月12日から13日、秦剛中国外交部長は外交関係樹立40周年を迎えた本年、アンゴラを訪問し、ロウレンソ大統領表敬、アントニオ外相との会談の他、ファーウェイ職業訓練センターの視察等を行った。

●1月24日から26日、ラブロフ露外相がアンゴラを訪問。ロウレンソ大統領表敬、アントニオ外相との会談において、技術・軍事、人道支援、原子力、通信、教育、ダイヤモンド産業等の分野における二国間協力の強化等について意見交換を行った。

●1月31日、アンゴラは、ユネスコ本部で開催された会合で、アフリカ議長国に就任した。

【経済】

●1月10日から13日、貸谷豊田通商(株)社長はアンゴラを訪問し、ロウレンソ大統領表敬、ベンゲラ州とナミベ州の視察等を行った。

●1月11日、ダヴェス財務大臣とゴン・タオ当地中国大使は、アンゴラにおけるブロードバンド事業実施に係る融資契約への署名を行った。

内政

1. 地方自治体制度化に向けた統合計画

1月13日、ヌネス・ジュニオル大統領府経済調整担当大臣は、国会にて、本年第1四半期中に地方自治体制度化に向けた統合計画を承認する旨発表した。同大臣によれば、大統領令により、同計画の実施に向けた省庁間委員会も既に設置されている(AP 1/13)。

2. 農漁業センサスの発表

1月17日、国家統計局(INE)は [2019-2020年農漁業センサス\(RAAP\)](#) の報告書を発表した。本センサスは、FAOの技術支援の下、複数の省庁が協力して作成された。また、本報告は、2020年2月に自給的農家を含む全国18州の農家を対象に行われた調査に基づいたものである(JA 1/17)。

3. 国家安全保障会議の開催

1月19日、ロウレンソ大統領は国家安全保障政策と戦略に関する事項を審議するため、国家安全

保障会議の初会合を主宰した。会合では、アントニオ・エ・サントス・アンゴラ軍参謀長（陸軍大将）の後任として、アルティーノ・ドス・サントス空軍大将が任命された（[JA1/20](#)）。

#### 4. 公立大学 9 校を増設

1 月 21 日、マリア・サンボ高等教育・科学技術・イノベーション大臣は、2 年以内にアンゴラの経済的課題に教育水準を適応させる方策として、ベンゲラ、ビエ、カビンダ、クワンザ・スル、クネネ、ルアンダ、モシコ、ナミベ、ザイールの各州に、新たに 9 つの公立大学を建設する意向を表明した（[CKi1/23](#)）。

#### 5. 衛星ミッション管制センターの開所

1 月 27 日、ロウレンソ大統領臨席の下、ルアンダ州フンダ市にて衛星ミッション管制センター（CCM）の開所式が行われた。同センターは、国家宇宙戦略 2016-2025 の一環として設立され、最大 3 機の衛星の追跡、監視、探査を行う能力を備えている（[JA1/27](#)、[JA1/28](#)）。

### 外交

#### 1. 鈴木日本国大使の信任状捧呈

1 月 20 日、ロウレンソ大統領は大統領官邸において、スイス、コンゴ（民）、日本、ドミニカ、スウェーデン、セイシェル、東ティモール、ジブチ、オーストラリアに対し、信任状捧呈式を執り行った。鈴木大使は日・アンゴラ間の民間投資を促進することを目的として、特に経済関係において、アンゴラとの協力分野を拡大する意向であると述べた（[JA1/21](#)）。

#### 2. 草の根・人間の安全保障無償資金協力関連

1 月 16 日、モシコ州ルエナ市において、草の根・人間の安全保障無償資金協力事業の完了確認及び供与式が開催された。高橋臨時代理大使は、2020 年、モシコ州の地雷除去作業に 64 万 7 千ド

ルを供与したと述べるとともに、アンゴラ経済の持続的発展と多角化を確実なものとする上で、地雷除去は日本政府にとって優先課題の一つであると述べた（[JA 1/18](#)）。

#### 3. ロウレンソ大統領のブラジル大統領就任式出席

12 月 30 日から 1 月 3 日、ロウレンソ大統領はルーラ／ブラジル大統領就任式出席のためブラジルを訪問した。また、そのマージンで東ティモール、ギニアビサウ首脳及びウクライナ副首相等と会談を行った（[JA 1/4](#)）。1 月 4 日（帰国後）には、ルーラ伯大統領と電話首脳会談を実施し、アンゴラ・伯合同委員会の開催を含む合意事項の実現に向け意見交換を行った（[JA 1/4](#)）。

#### 4. ザンビア大統領のアンゴラ訪問

1 月 10 日から 12 日、ハカインデ・ヒチレマ／ザンビア大統領はアンゴラを訪問し、首脳会談、国会訪問、アゴスティーニョ・ネト記念館訪問、ロビト製油所、ロビト回廊（ベンゲラ鉄道及びロビト港）の視察等を実施した。1 月 11 日には、国境道路建設に関する覚書や二国間合同委員会設立に関する協定を含む 6 件の法的文書への署名が行われた（[JA 1/12](#)）。

#### 5. 秦剛中国外交部長のアンゴラ訪問

1 月 12 日から 13 日、秦剛中国外交部長はアンゴラを訪問し、ロウレンソ大統領表敬、アントニオ外相との会談の他、ファーウェイ職業訓練センターの視察等を行った。ロウレンソ大統領表敬では、本年 40 周年を迎えた二国間協力の状況につき協議した他、両国の外交関係を一層発展・拡大し、相互利益を追求する方法につき意見交換を行った（[JA 1/14](#)）。

#### 6. ロウレンソ大統領の国際会合「アブダビ・サステナビリティ・ウィーク」出席

1 月 15 日から 18 日、ロウレンソ大統領は国際会

合「Abu Dhabi Sustainability Week」出席のためアラブ首長国連邦(以下、ア首連)を訪問した。また、本会合のマージンで、ムハンマド・ビン・ザーイド・アール・ナヒヤーン／ア首連大統領と首脳会談(15日)を実施した他、17日にはアンゴラ・ア首連間の太陽光発電、港湾分野での法的文書3件への署名に立ち会った(JA 1/18 [①](#) [②](#))。

#### 7. 齋田外務省アフリカ部長のアンゴラ訪問

1月19日から20日、齋田外務省アフリカ部長はアンゴラを訪問し、ドミンゴス・ヴィエイラ・ロペス外務副大臣(国際協力担当)を表敬、二国間及び多国間協力の深化につき協議した他、ハイレベルでの両国訪問につき意見交換を行った([JA1/19](#)、[JA1/20](#))。

#### 8. インド、セルビアとの軍事協力

1月21日から28日、フルタード大統領府武官長はインド及びセルビアを訪問し、上級軍事指導者や防衛産業企業と会談し、軍事及びサイバーセキュリティ技術の支援と近代化の分野における問題につき協議を行った。( [JA1/23](#) )

#### 9. ラブロフ露外務大臣のアンゴラ訪問

1月24日から26日、セルゲイ・ラブロフ露外相はアンゴラを訪問し、ロウレンソ大統領表敬、アントニオ外相との会談の他、アゴスティーニョ・ネト元大統領霊廟や当地露大使館運営の学校等を訪問した。両国代表団の会談においては技術・軍事、人道支援、原子力、通信、教育、ダイヤモンド産業等の分野における二国間協力の強化について意見交換を行った([JA1/25](#))。

#### 10. アンゴラ、ユネスコでアフリカ議長国に就任

1月30日、フランス、パリにある国連教育科学文化機関(ユネスコ)本部で開催された会合で、アフリカの40カ国以上が参加する中、ユネスコのアフリカ議長国に就任した([JA1/31](#))。

## 経済

#### 1. 貸谷豊田通商(株)社長のアンゴラ訪問

1月10日から13日、貸谷豊田通商(株)社長はアンゴラを訪問し、ロウレンソ大統領等を表敬した他、ベンゲラ州とナミベ州にて各州知事表敬及び事業サイトの視察を行った。同大統領表敬では、ルアンダ市郊外のカゼンガ職業訓練校内に位置するトヨタ・デ・アンゴラ・アカデミーやナミベ商業港の建設・改修等につき意見交換を行った([JA 1/13](#))。

#### 2. 中国からの新規融資

1月11日、ダヴェス財務大臣とゴン・タオ当地中国大使は、アンゴラにおけるブロードバンド事業実施に係る融資契約への署名を行った。ダヴェス財務大臣は、本融資契約は満期最長20年で無担保となっており一般的な金融市場よりも有利な条件、石油生産および石油を担保とするものではない旨言及した([JA1/11](#)、[AN1/21](#))。

#### 3. フィッチ・レーティングスによるアンゴラ経済予測

フィッチ・レーティングスはアンゴラの信用格付「B-」を維持すると共に、見通しを「ポジティブ」に引き上げた。また、実質経済成長率を本年2.7%、2024年2.5%と予測した他、公的債務残高(対GDP比)は本年60.3%、2024年は54.4%まで減少する見通しであると発表した([JA 1/17](#))。

#### 4. GDPが初めて人口増加率を上回る

オットニエル・ドス・サントス財務副大臣は、アンゴラ政府は2023年の国内総生産(GDP)が人口増加率を上回り、3.3%の予想が達成される見通しであると発表した([RTP1/21](#))。

#### 5. 2022年の卸売物価は18.7%に

国立統計局(INE)のデータによれば、2022年の卸売物価の年間インフレ率は18.7%に減速し、31.1%に達した2021年に比べ12.4ポイントの低

下を記録した([EX1/22](#))。

## 6. アラブ・アフリカ経済投資銀行(BADEA)、アンゴラに 10 億ドル以上の投資

1 月 23 日から 24 日、ザンゴ経済特区(ESS)で開催された第 1 回アンゴラ投資フォーラム(FIPA)にてモハメド・ディアオ FIPA コマーシャルディレクターは、BADEA)がアンゴラでの経済プロジェクトに 10 億ドル以上を投資し、同国の経済活性化を図る予定であることを明らかにした([AP1/25](#))。

## 7. 韓国、メディア分野での協力を拡大する意向

1 月 24 日、チェ・クワンジン当地韓国大使は、ドラモンド・マフタ／エディソス・ノベンプロ社 CEO を表敬し、メディア、文化、経済、農業の分野で二国間協力を改善・拡大し、また 2030 年の釜山万博開催への韓国の立候補と 2024 年の韓国・アフリカ臨時首脳会議の実現に向け協議を行った([JA1/25](#))。

---

\*\*\*\* AA: All Africa、 AC: アンゴラ華人報、 AfN: Africa News、 AN:Ango Noticias、 AO: Angola Online、 A024:Angola 24 horas、 AP: Angop、 BB: Bloomberg、 CK: Club-K、 CRK: Correio Kianda、 DN: Diario de Noticias、 DV: Dinheiro Vivo、 DW: Deutsche Welle、 EG: E-Global、 EIU: Economist Intelligence Unit、 EN: Euro News、 EX: Expansão、 EXP: Expresso、 FT: Financial Times、 FAL: Forbes Africa Lusofona、 FM: Forum Macao、 GOV: Government' s Official Portal、 JA: Jornal de Angola、 JE: Jornal Economico、 JN: Jornal de Negocios、 LS: Lusa、 ME: Mercado、

MH:Macau Hub、 MR: Mining Review、 MW: Mining Weekly、 NAM: Noticias ao Minuto、 NJ: Novo Jornal、 OBS: Observador、 OP: O País、 PA: Portal de Angola、 PB: Publico、 RE: Reuters、 RFI: Radio France Internationale、 RTP: Rádio e Televisão de Portugal、 TPA: Televisão Pública de Angola、 VA: Ver Angola、 VE: Valor Económico、 VG: Vanguarda、 VI: Visão、 VOA: Voice of America、 WB: World Bank、 WSJ: Wall Street Journal、 XN: Xinhua Net